

ふる〜ぶ

吉野川ファン通信

VOL.89

2007/7

「ふる〜ぶ」はフランス語 (fleuve) で海にそそぐ大河のことです。
ひと、まち、自然、歴史、風景などの吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えます。



1 page [特集] 吉野川アラカルト

おいしい豆腐を作ってみよう。 吉野川流域で豆腐づくり体験

これからの暑い季節、冷奴を食べる機会も多いはず。
ゆたかな水のあるところに、おいしい豆腐あり。
どうせなら、豆腐を作ってみよう。
おいしい豆腐を求めて、いざ出発。

3 page 吉野川いまむかし 徳島市絵はがき編

4 page ふる〜ぶ編集部がおじゃましま〜す! 千松小学校の巻 レインボータイム・米作りを通じての学習

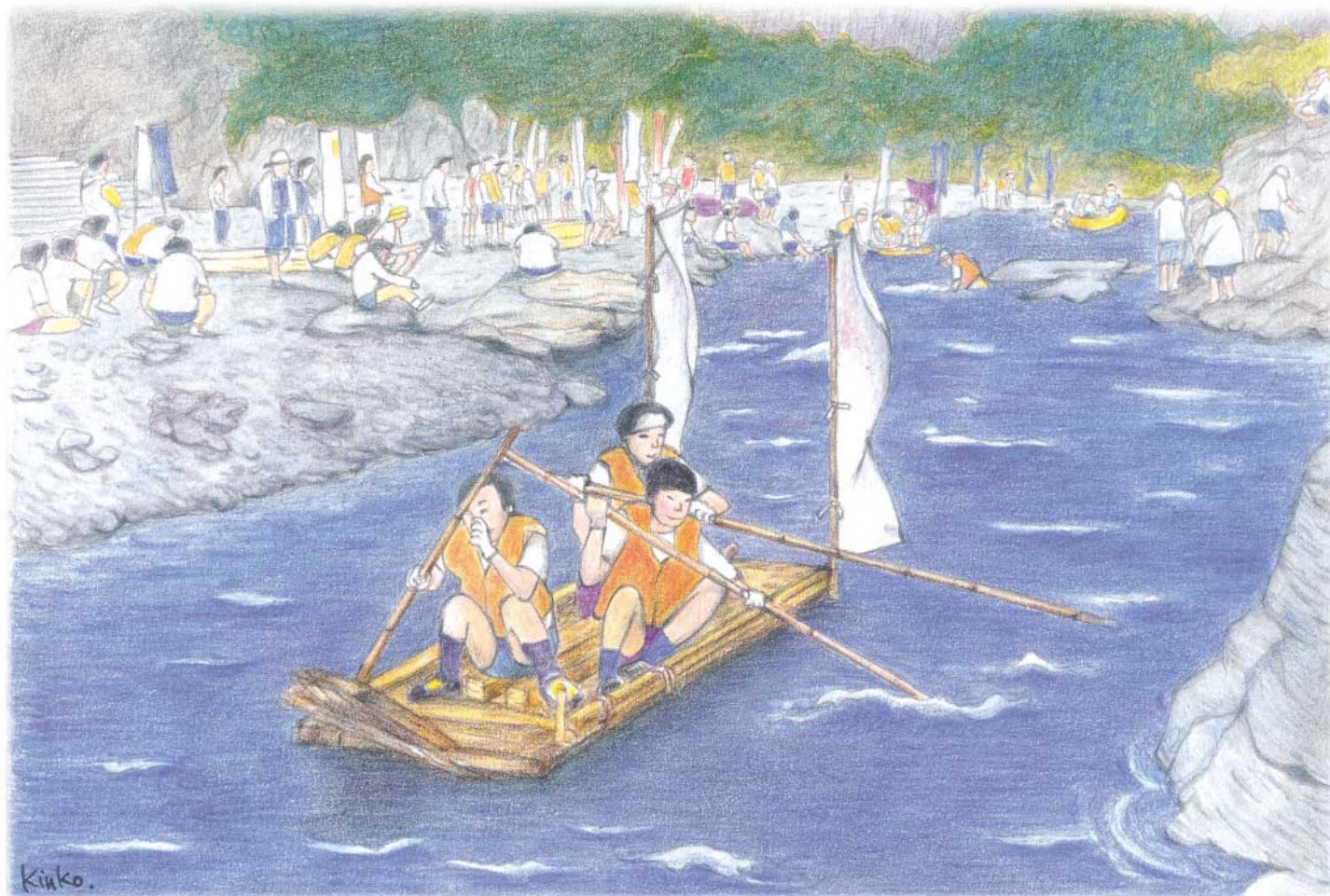
5 page ふる〜ぶめいと通信 うだつの町並みと藍倉群 ふる〜ぶめいとリーダーミーティング

6 page Ra♪Ra♪Ra♪ エッセイ タイム

ふる〜ぶ INFORMATION
「四国のみずべ八十八カ所」のポストカードと
エコバックができました。

7 page よりよい吉野川づくり〈第26回〉 川に親しむ取り組み

ふる〜ぶひ・ろ・ば
編集後記・今月の表紙イラスト・プレゼント



おいしい豆腐を作ってみよう。

吉野川流域で豆腐づくり体験

これからの暑い季節、冷奴を食べる機会も多いはず。

冷たく冷やしたお豆腐を口の中に入れると、大豆の甘みが広がって、おしょうゆをかけなくても、それだけでおいしいですね。

ゆたかな水のあるところに、おいしい豆腐あり。どうせなら、豆腐を作ってみよう。

おいしい豆腐を求めて、いざ出発。

道の駅貞光ゆうゆう館

実は、あまり知られていない豆腐体験

道の駅貞光ゆうゆう館は、徳島県の西北部、吉野川中流域南岸のつるぎ町貞光にあります。

高峰、剣山の登山口として知られ、貞光ゆうゆう館にも、多くの登山者の方が訪れています。

そんな方たちをはじめ、ヘルシー指向のお客さんに大好評なのが、売店で販売されている豆腐です。豆腐は、木綿と、おぼろ豆腐。豆乳も販売されています。おからは、無料で配布されており、こちらも大好評だとか。

ここで、豆腐が作られるようになったのは、2005年1月から。貞光ゆうゆう館では、以前から地域で生産された農産物などをその地域で消費する地産地消のとり組みに力を入れていることもあり、農林水産省の地域食材供給施設として、地元で栽培された安

全な大豆を使って、豆腐を作っています。もともとつるぎ町では、みそ用の大豆を作っている農家は、10軒程度しかありませんでした。それがこの豆腐が作られるようになり、栽培農家は27～28軒に増え、栽培面積は全部で20反（約2ヘクタール）を作っています。もちろん、吉野川の支川である貞光川のゆたかな水もかかせません。

たったひとりで、この豆腐を作るのを担当しているのは、枝川ひとみさんです。もともと、貞光ゆうゆう館のレストランで、ウェイトレスを担当していましたが、「豆腐って、どうやってできるんだろう」と興味があって、この仕事を志願しました。最初は、豆腐を作るのは、まったくの素人。脇町にある豆腐店の見学に朝5時に起きていき、作り方のノウハウを教わりました。その後は、役場の農林課や機械の業者の方に使い方を教えてもらいながら、枝川さんなりの豆腐を作り上げてい



たったひとりで豆腐を作る
枝川ひとみさん

きました。はじめて自分が作った豆腐が完成した時は、とても感動したそうです。

なんと、ひとりで1日に120丁、それとは別に、おぼろ豆腐を20丁、豆乳を20本作っています。四角い豆腐も、ただ大豆を搾り、それを押し固めるとできるというものではありません。前日の夜から、仕込みは始まります。豆腐作りに使用する「ふくゆたか」という種類の大豆を洗い、水につけることから豆腐づくりは始まります。では、編集部の体験を通じて、豆腐が作られる過程をみてみましょう。



前日から、水につけられた大豆は、水分を吸って大きく膨らんでいる。この大豆を洗い、豆の皮や、とりきれていないゴミをとる。



大豆を機械ですりつぶし、ジュース状(真)にする。



煮釜で炊く。



【3】であたためたものを、圧搾機で絞る。おからと、豆腐づくりのもととなる液体(豆乳)がでてくる。おからは、物産館で無料配布している。

5



にがりをうち、大きなしゃもじでゆっくりと大きくハの字を書きながら、全体にゆきわたるように混ぜていく。10分ぐらい置く。この作業を2〜3回繰り返す。

6



そのうち、豆腐が固まってきた、かき混ぜるときのしゃもじが重くなってくる。このあたりまでくると、型に入れ、圧力機で上から押さえる。じわじわと、上から圧力をいれていくと、少しずつ豆腐の面が下がっていくのが分かる。ちょうどいい固さになるまで、大体20分ぐらい。触ってみた感覚でわかるそうである。

7



完成したら、線に沿ってきり、水に放つ。表面は冷えていても、中は冷えていないこともあるので、念入りに時間をかけて冷やす。



豆腐作り体験は、5人までなら人数に関係なく5,000円。30丁のお豆腐ができますよ。

体験では、大豆を洗ったり、出来上がった豆腐を切ったり、なかなか体験できない袋詰めを体験したり。途中で、固める前のふわふわのお豆腐や温かい豆乳を試食、試飲できるのもお楽しみです。できあがった大豆の甘みがほわほわと口のなかにひろがりつつも、しっかりとした大地(=大豆)の味がします。

夏は、サウナのようなこの部屋で汗をかきながら、冬は、手の切れるような冷たい水を使い、たったひとりで豆腐を作り続けている枝川さん。「豆腐は、

難しい……」といいます。夏と冬、季節によって、大豆を水につける時間も変わってきます。同じ大豆でも、その日の気温、水温、水の量、大豆の粒の大きさによって、豆腐の固さが変わってくるのです。ですから、そのときそのときで、水の量の調整や作業工程の時間の調節などを行います。そして、最後に、みんなに美味しい豆腐を食べてもらいたいという思い。

「やります!!」と、最後の機械片づけを志願したものの、重い道具を洗うのは一苦勞。豆腐づくりは、一朝一夕にいかないと実感したのでした。



お問い合わせ

道の駅真光ゆうゆう館
美馬郡つるぎ町真光
TEL (0883) 62-5000

こんなところでも、
豆腐体験ができますよ。



農業体験施設キリサコ村
(大川持農業体験施設)

標高500m。眼下に吉野川を一望できるのが、キリサコ村(大川持農業体験施設)。

吉野川を眼下に見下ろし、大自然に囲まれた中で、地元の女性の指導により、さまざまな体験ができます。こんにゃくづくり、豆腐づくり、そば

づくりなど、一項目2,000円で、項目が増えるごとに500円づつ追加されます。ここで作るきりさこ豆腐は、体験者が自ら新鮮な大豆をひいて作るの、作る楽しさと、自然のなかで、作ら



豆腐づくりの真っ最中。

てのあつあつが試食できることが楽しみです。持ち帰っても、濃厚な味ですよ。

予約制で、3人のグループより、受付をしているそうです。

お問い合わせ

キリサコ村(大川持農林業体験施設)
〒779-5304 徳島県三好市山城町大川持
TEL.0883-86-1115 FAX.0883-76-6510

<http://www.kirisako.jp/index.html>

JR阿波川口駅から、車で15分。
詳しくは、ご予約時に、ご案内させていただきます。

吉野川 いま むかし

このコーナーでは、吉野川の
今と昔の写真を見ることによって、
ふるき時代をみつめ、
未来の吉野川を創造します。

第14回

徳島市 絵はがき編

阿波市在住の高田恵二氏がコレクションとして集めている絵はがきをお借りすることができました。
絵はがきには具体的な年度を記載しているものもあれば記載していないものもありますが、
すべて大正時代から昭和初期にかけてのものだそうです。
その根拠として、はがきの宛名を書くところに郵便はがきと右から左に書かれているからです。
今回は徳島市で撮影された絵はがきをご紹介します。



徳島県庁旧庁舎

昭和5年から昭和61年まで使用されていた徳島県庁の旧庁舎。現在では徳島県立文書館に旧庁舎の一部が移築されており、当時の旧庁舎の面影が残されています。



昔

県庁前にヨットハーバーがあることから、ケンチョピアとよばれ親しまれています。遊歩道や公園も整備されています。

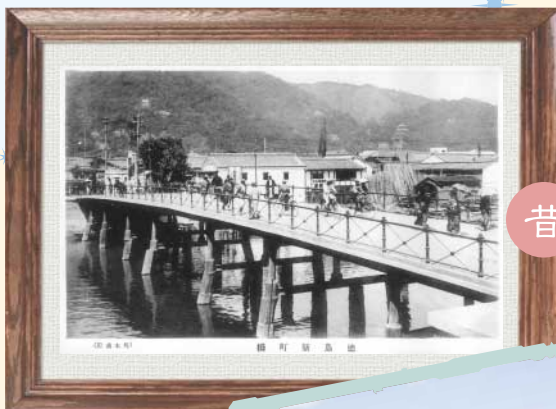


今



新町橋

徳島駅から阿波踊りの歌「よしこの」の中にも登場する「新町橋」。舟運も発達し、徳島の商業や、経済の中心地でした。周辺には材木商が多くあり、橋の向こう側には材木が数多く置かれているのが見えます。



昔

新町橋周辺は、ボードウォークや水際公園などが整備され、住民の憩いの場となっています。



今



藍蔵が立ち並ぶ新町川

新町川沿いには藍商人達により建てられた白壁の倉庫が並んでいました。現在も藍場浜という地名が残されています。多くの舟が行き交い、藍、米、麦などのたくさんの荷物が積まれ運ばれる風景が見られました。昭和6年に徳島を訪れた与謝野鉄幹・晶子夫妻が「オランダの芝居のごとく水にあり藍場の浜の白き倒影」(鉄幹)や「徳島の藍場の浜の並倉と新町橋に秋風ぞ吹く」(晶子)という歌を残しました。



昔

現在は藍蔵の風景を見ることはできませんが、当時の面影を残した公園が整備されています。



今



城山と徳島の眺め

遠くに吉野川が見えます。



昔

街並みは変わっていますが、城山と向こうに見える吉野川は同じです。



今

ふる〜ぶ 編集部が おじゃまします!

千松 小学校 の巻

徳島県内の小学校の中で最も児童数が多い(1034人)徳島市の千松小学校。昔は農地が広がっていましたが、現在は、マンションや県道30号沿いに多くの店舗ができ、児童数も毎年増えています。

千松小学校では総合学習の時間をレインボータイムと名づけています。校歌のなかにも「虹のように高くかがやけ」というフレーズがあります。毎年、地域内の方々の協力で行われている米作り。今回は田植えをしているところにおじゃまさせていただきました。

毎年5月に行われている田植え。5年生が中心となり今年は4年生以上が参加していました。田植えの前に苗を分けて準備をするのも5年生の役割です。また、田植えだけではなく、5年生が中心となって苗の観察を行い、秋には4年生以上で稲刈りをし、全校行事としてもちつきを行っているそうです。

児童の数も多いので、先生と子どもたちだけではなく運営ができません。PTAやJ Aの方々も開会式の時に集まり田植えに協力していました。

開会式では、田んぼを子どもたちのために提供されている地元の田中義之さんから「今日植える苗はまだ1年生。やさしく植えてあげてください。

命を扱うので感謝の気持ちをもって植えてください」という



レインボーパークの入り口

レインボータイム・米作りを通しての学習



みんな一生懸命

挨拶があり、児童代表者からお礼と「これからの学習に役立てます」と挨拶をしてから田植えがスタート。「レインボーパーク」と名づけられた田んぼに、苗を植え始めました。「深い。」「カエルがいる。」「なかなか歩けん。」などいいながらもみんな楽しそう。手には落とさないように小さな苗がしっかりと持たれています。県道30号(通称田宮街道)沿いに田んぼが面していることから、通る方々も立ち止まって田植えの様子を見守っていました。地域全体で子どもたちの田植えを見守っているような雰囲気です。

他の学年の子どもたちにも苗を配るのも5年生。総合学習担当5年生担任の藤本先生は「苗やお米が苦労して作られている事、米作りを通じて協力やコミュニケーションすることの大切さや相手を思いやる気持ちを育ててほしい。」と話していました。



多くのみなさんが協力

田植えを終えた子どもたちは「水が冷たくて、田んぼは、ぬるぬるとしていたけど、おもしろかった。」「稲が大きくなってからの稲刈りやおもちつきが楽しみ。」と笑顔で話してくれました。やさしさと思いやりがこめられた苗が大きくなるのが今から楽しみです。

吉野川ミニ辞典



しんすいそうてい く いき 浸水想定区域

徳島河川国道事務所では水防法に基づき「水災による被害の軽減」「円滑かつ迅速な避難の確保」等を目的に、吉野川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を平成14年8月30日に、また旧吉野川、今切川に関しては、平成19年3月30日に「浸水想定区域」として区域および浸水した場合に想定される水深を公表しています。

浸水想定区域については、市町村において作成される洪水ハザードマップ等の基礎資料として使用されています。これらの浸水想定区域については、四国地方整備局や徳島河川国道事務所ホームページで閲覧することができます。

問い合わせ:徳島河川国道事務所 河川調査課 TEL:088-654-2211(代表)

吉野川
旧吉野川・今切川

<http://www.toku-mlit.go.jp/river/sonaeru/kouzuimap/index.htm>

http://www.toku-mlit.go.jp/river/sonaeru/kouzuimap_kyuu/index.htm





「ふる～ぶめいと」は、
吉野川が大好きな
人たちの集まりです。

「ふる～ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる～ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。

めいと レポート

うだつの町並みと藍倉群

美馬市つるぎ町 大塩 邦光さん

脇町うだつの建物の並ぶ南町は、現在うだつ通りとして有名です。この街並みは、江戸時代中期から明治の中頃まで、阿波藍の集散地として繁栄しました。1800年頃は、藍の作付面積、藍玉の生産で全国市場を独占し、徳島藩の有力な財源になりました。



阿波北方は、毎年繰返される吉野川の洪水によって入れ替わる砂質の土と吉野川の水運に恵まれ、藍作が盛んになりました。しかし、農民は重労働の連続で、「阿

波の北方おきあがり小法師、寝たと思たらはや起きた」とうたわれました。

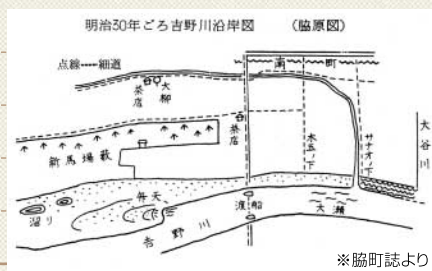
さて、明治30年頃の脇町の地図を見ると、吉野川の流れは北岸近くにあり、現在の道の駅うだつ付近に、大きな水路があります。

藍問屋の蔵が並ぶすぐ下は舟つき場になっており、表通りには、うだつの建物が並んでいました。南側

の藍倉群と北

側のうだつの街並

みをセットにすると、当時の繁栄をしのぶことができます。



※脇町誌より

ふる～ぶめいとリーダーミーティング

5月17日(木)

今後のイベントや、ふる～ぶの誌面そのものについて話し合うふる～ぶめいとリーダーミーティングを、美馬市穴吹町の「ブルーヴィラあなぶき」で開催しました。

施設周辺では、清流穴吹川周辺を散策しながら山菜採りも楽しむことができます。春先にふる～ぶで野草料理教室を開催していることなどから、研修をかねて、NPO法人徳島県森の案内人ネットワークの佐藤会長と井口さんを講師に山菜の種類、栄養、調理方法などを御指導していただきました。穴吹川が近くを流れる中での山菜採り。マイナスイオンを感じながら研修を行うことができました。

山菜について学んだ後、ふる～ぶめいとリーダーとのミーティングを行いました。ミーティングで

は「学校訪問を行うこと」、「一般募集でのイベント内容案」などさまざまな意見が出されました。今回のミーティング結果をもとに、いろいろなイベントを行っていきます。今後、イベントなどを開催するときは、ふる～ぶの誌面や、ホームページなどで紹介しますのでみなさん是非ご参加くださいね。



たくさんの山菜や
かわいい花を見つけました



ミーティングはいつも真剣

ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる〜ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

タイム

原産地は地中海沿岸地方です。ユーラシア大陸に分布し、約350種が知られているティムス属は、チモール、カルバクロールなどの有効成分を含み、薬用や香料として使われています。

ニンニク、玉葱、赤ワインとよく合い、肉料理や魚料理をおいしくして、同時に消化も助け、また、パテ、テリーヌなどに加えると抗菌作用で保存性も高まります。シトラス系の香りのタイムは、お菓子やデザート

の材料に加えるとよく、コモンタ

イムや、ワ

イルドタイ

ム(タイム

セルピルム

のティーは、

消化不良、気

管支炎などを軽

減し、うがい薬にも

なります。また、テ

イーに蜂蜜を加え

ると、咳、風邪、のど

荒れの症状にもよい

といわれています。

樹形により二つのタイ

プに分けられ、一つは、幹が地

面から立ち上がる立性タイプで、

コモンタイム、フレンチタイム、

ゴールデンクイーンタイム、シ

ルバータイム、シルバークイ

ンタイム、オレングバルサムタ

イム、レモンタイム、カムフラ



イブキジャコウソウ

オレングバルサムタイム

【黒川慶子さん経歴】

ハーブコーディネーター

板野町でハーブ農園を営む。

食と健康について、講演も務める。

徳島県薬草協会会員

上板町薬草協会会員

ータイムなどがあります。そして、もう一つは、幹が横に広がるように伸びていくほふく性タイプで、イブキジャコウソウ(ピンク、白)、クリーピングタイム(白、赤)、ゴールデンタイム、オレングバルサムタイム、キャラウェイタイム、ブロードリーフ、マジックカーペット、マスチック、レイター、ロングウッド、ドーンバレー、フォクスリー、ロングリウス、ラベンダータイムなどがあります。五月中旬から八月頃まで咲く花は、とても小さく愛おしささえ覚えるほどです。採集は、開花前から開花期にかけてします。夏の高温多湿に弱いので、鉢植えなどにして、蒸れを防いでやると簡単に育てることが出来ます。園芸療法や、初めてのハーブ作りに最適かと思われま

す。それぞれの匂いや花が違いますので、ご自分の好みのものを見つけて育てるのも楽しいですよ!!

ふる〜ぶ INFORMATION

「四国のみずべ八十八カ所」の ポストカードとエコバックができました。

「四国のみずべ八十八カ所」

実行委員会徳島部会では「四国のみずべ八十八カ所」の周知活動の一環として、徳島のみずべの写真を掲載した「四国のみずべ八十八カ所」ポストカードと「四国のみずべ八十八カ所」のロゴを印刷したエコバックを作成しました。

このポストカード及びエコバックは、徳島のみずべのすばらしさを広く徳島のみなさんに知ってもらうため、各種イベントや会議にてお配りする予定です。



エコバック

ポストカード

【お問い合わせ】徳島河川国道事務所 地域連携課 TEL (088) 654-9175

川に親しむ取り組み

国土交通省徳島河川国道事務所では、現在、「吉野川水系河川整備計画」の策定に向けた取り組みを行っています。その取り組みのなかで、徳島河川国道事務所では、将来を担う子どもたちへの環境教育の積極的な支援や、地域住民との連携活動などを行っています。今回は、7月の河川愛護月間について、お伝えします。

国土交通省では、河川や水辺に親しみ、理解と関心を高めていただくことを目的に、毎年7月1日から31日までを河川愛護月間と定め、河川愛護活動を実施しています。

川が好き 川にうつった 空も好き

7月は、河川愛護月間 7月7日は、川の日。
みんなで川に親しみ、川をきれいにしましょう



吉野川一斉清掃

7月1日(日) 吉野川、旧吉野川、今切川

※少雨決行

当日の朝、堤防にたててある旗を目印にお越しください。時間など、詳細についてはお問い合わせください。



吉野川流域一斉水質調査

7月22日(日)

申し込みいただいた皆さんにより、調査キットを使って、吉野川流域すべての川において、簡易水質調査(pH・COD)を行います。

※7月6日まで申し込みを受け付けています



水生生物調査

吉野川の水質をサワガニ、カワゲラ、トビゲラなどの水生生物の生息状況を調査し、川のきれいさを簡易に評価します。当日会場へ集合してください。

7月3日(火)

穴吹新橋/吉野川右岸:美馬市穴吹町

7月24日(火)

学島橋下流/吉野川右岸:吉野川市川島町

西条大橋上流/吉野川左岸:阿波市吉野町

7月31日(火)

角の浦大橋上流/吉野川右岸:三好郡東みよし町

貞光美馬橋上流/吉野川右岸:美馬郡つるぎ町

【参加についてのお問い合わせは】

国土交通省 徳島河川国道事務所 地域連携課
徳島市上吉野町3-35 TEL:088-654-9175



第6回「美しい山河」図画展

河川の環境と河川愛護の意識を高めていただくため、吉野川、那賀川沿川の市町村の小学生を対象にした「美しい山河」をテーマにした図画の展示を行っています。ぜひご来場ください。

8月1日(水)～8月9日(木)

道の駅貞光ゆうゆう館ギャラリー

四事務所の優秀作および徳島河川国道事務所の入選、佳作、特別賞を展示。

8月17日(金)～8月20日(月)

阿南ショッピングプラザアピカ

四事務所の優秀作および那賀川河川事務所の全作品を展示。

7月21日(土)～7月25日(水)

早明浦ダムふれあいホール

四事務所の優秀作および四国山地砂防事務所・吉野川ダム統合管理事務所の入選、佳作を展示。

7月26日(木)～7月29日(日)

霧の森交湯～館

四事務所の優秀作および柳瀬ダム管理支所の全作品を展示。

【お問い合わせ】

国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所
河川占用調整課 TEL(088)654-9270

【主催】

四国地方整備局 徳島河川国道事務所
那賀川河川事務所
四国山地砂防事務所
吉野川ダム統合管理事務所

よりよい吉野川づくり 吉野川水系河川整備計画については
<http://www.yoshinoriver.info>



ふる～ぶ編集後記

豆腐作りの時に必要な「にがり」を少し味見してみたら苦かったです。当たり前ですね。豆腐にはおいしい水がかかせないことを実感しました。(や)

これからの暑い季節。川にでかけることも多いですね。安全には、充分注意して、楽しい夏をすごしてくださいね。(か)



「穴吹川筏下り大会」

今年も穴吹川の夏の一大イベント、穴吹川筏下り大会が8月5日(日)に開催されます。入賞者には賞金、参加者全員に参加賞があります。当日は、ゴール地点でバザーや、鮎のつかみどりも行われますよ。

筏下り大会締切は、7月10日(火)までです。

お問い合わせ:穴吹川筏下り大会実行委員会
(美馬市商工観光課) TEL:0883-52-2644



竹とんぼプレゼント

竹細工教室で講師としてお世話になっている、ふる～ぶめいとリーダー長江順次さんが作られた竹とんぼを抽選で2名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキまたはFAXに住所、氏名、電話番号、誌面の感想もお書きのうえご応募ください。締切は7月31日(火)です。

〒771-1156
徳島市応神町応神産業団地13-28
ふる～ぶ編集部「竹とんぼ」プレゼント係



ふる～ぶは、吉野川流域の市町村役場、図書館、博物館、公民館等の公共施設および道の駅にて、自由にお持ちかえりいただけます。皆様ご愛読ください。